

第10回 相模女子大学人間社会学部 社会福祉シンポジウム

外国にルーツのある若者の自己実現を求めて ～夢や想いを聞くことからはじめよう～

在留外国人の増加に伴い、外国にルーツを持つ多くの若者が日本で生活し、学んでいます。しかし、外国にルーツのある若者が日本の教育機関で学ぶことに対するサポート体制は十分とは言えず、好きなことを学んだり、希望する仕事に就くことが難しい現状があります。

シンポジウムでは、外国にルーツのある若者本人と、長年学修支援に取り組んでいる専門家の話から外国にルーツのある若者が置かれている現状と課題を共有したいといいます。その上で私たち一人ひとりに何ができるのかを参加者みんなで考える機会にしたいとおもいます。

日時:2025年3月13日(木) 15:00~17:00

会場:相模女子大学 7号館 1階ラウンジ

参加費:無料



- ・高橋清樹氏(認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ事務局長)
- ・アンジェロリム氏(専修大学4年生)
- ・国吉メリッサ氏(東海大学4年生)

高橋清樹氏 プロフィール

神奈川県立高校や養護学校の教員として38年勤務。
「多文化共生教育ネットワークかながわ」(略称ME-net)
創設メンバー。2019年文部科学省「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」委員、文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザー。

認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(略称ME-net)
外国につながる子どもたちの教育を支援し、共に生きられる社会の実現を目指す多岐にわたる活動を展開している。事業の1つである多文化学習活動センター(CEMLA)を相模女子大学にて開催している。

申し込み

QRコード・URL



<https://00m.in/kIUUU>

問い合わせ 相模女子大学人間社会学部
担当:松崎 042-742-1411(代表)

後援:相模原市社会福祉協議会

